

「スリランカで復興支援協議」

A M D A 会員

インド洋大津波の緊急



救援活動で、今後の支援内容を協議するため26日にスリランカに向かう国際医療援助団体「A M D A」のプロジェクトオフィサー、富田彩香さん(30)らが24日、岡山市櫛津のA M D A本部隣の施設で記者会見した。富田さんは「中長期的な復興支援の実施を視野に、スリランカ

政府などと協議したい」と話した。写真。A M D Aは津波災害を受けた

スリランカ北部キリノッチや南部ハンバントタなどで、03年2月から政府と反政府武装勢力の双方に医療などを提供する事業を展開。津波被災地では衛生状態が悪化し、感染症のまん延が懸念されるため、A M D Aが双方からの要請で衛生教育を行うことになった。富田さんは「どの程度の規模の人材が必要かを実際に確かめたい」などと述べた。

また、全日信販と臨済宗妙心寺派花園会本部が同日、A M D Aに救援活動費を寄付した。